

《 気 体 》 ま と め

	酸素	二酸化炭素	水素	アンモニア	窒素	塩素	
色・ におい	色: なし(無色) におい: なし(無臭)	色: なし(無色) におい: なし(無臭)	色: なし(無色) におい: なし(無臭)	色: なし(無色) におい: 刺激臭	色: なし(無色) におい: なし(無臭)	色: 黄緑色 におい: 刺激臭	
密度	空気より (大き)い。	空気より (大き)い。	空気より (小 さ)い。 ※物質の中で密度が 最も(小 さ)い。	空気より (小 さ)い。	空気より ((わずかに)小 さ)い。		
その 他の 性質 ・ 特徴	・火のついた線香を 入れると、炎が (大き)くなる。 ↓ 他の物質を (燃 や)す はたらきがある。 (酸素自体は(燃え) ない。)	・(石 灰 水) を(白)色に にごらせる。 ・水に溶かすと (酸)性。	・マッチの火を近づけ ると、ポンと音を立て て(燃 え)る。 ↓ 自分自身(水素自 体)が(燃 え)る。 ・空気中で(燃 え) ると(水)ができる。	・水に溶かすと (アルカリ)性。	・空気の約(80)% (約(5)分の(4)) (※体積比)が窒素 である。	※塩素について は、教科書に載っ ていればそれを見 てまとめてみて ね！	※ここは予備の 欄です。他の気体 の特徴など教科 書に載っていれ ばメモしておい てくださいφ(^o^)
発生 方法 (作り 方)	(二酸化マンガン)に (オキソドール)を 加える	(石灰石(貝がら))に (うすい塩酸)を 加える	(鉄や亜鉛など(金属))に (うすい塩酸(硫酸))を 加える	(塩化アンモニウム)と (水酸化カルシウム)を 混ぜ、加熱する	←「オキソドール」は 「うすい過酸化水素水」 でもOK。	◇どの欄のどの語も 教科書の言い方に合 わせて覚えてね！！	
水に…	溶け(にくい)	溶け(にくい) (少し(しか)溶けない)	溶け(にくい)	非常に(よく溶ける) 溶け(やすい)	溶け(にくい)		
集め 方	(水 上)置換	(水 上)置換 (下 方)置換	(水 上)置換	(上 方)置換	← もしかして、「 <u>OO</u> いかも…その場合は	<u>置換</u> 」という言い方は 載っている言い方で	教科書に載っていな 覚えてね。

↑気体の集め方はそれぞれ理由があるので、「なぜそうやって ◇◇ ふたばプリント ◇◇ 集めるのか」をしっかりチェックしておきましょう(^o^)φ♪